

京 都

仁和寺御室

藝術

4.8
PROJECT



Ninnaji Omuro Art 4.8 Project

4月8日 お釈迦様の誕生日を祝う“仏生会”を中心に据え、
アート・花・文化の祭典を開催致します。

本企画は現代アート作家への非資金的な支援を目的とし、
京都随一の名勝“御室桜”、門跡寺院の文化財と現代アートの対比、
仁和寺に伝わる“御室流”華道作品をお楽しみいただきます。
アートの刺激を受け、花を愛でて、様々なご縁をつなげる。
これからの文化を育てる藝術プロジェクトです。



総本山仁和寺 瀬川門跡院下

御室芸術祭について
～祈りと芸術の響き～

仁和寺は宇多天皇を開山法皇とし、888年の創建
より令和の時代まで、弘法大師空海を宗祖とす
る真言宗の法灯を継承する寺院です……

[続きはこちら](#)

お知らせ

- 21/02/20 [ああああああああああああああああああああ](#)
- 21/02/20 [ああああああああああああああああああああ](#)
- 21/02/20 [ああああああああああああああああああああ](#)

[すべて見る](#)

展示内容・スケジュール

第一ステージ
「彫刻」



期間：2021/4/20～3/28
アーティスト：山口桂志郎

[詳細はこちら](#)

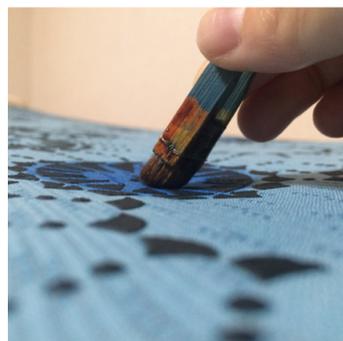
第二ステージ
「デザイン」



期間：2021/3/30～4/4
アーティスト：猪飼 俊介

[詳細はこちら](#)

第三ステージ
「染色」



期間：2021/4/8～4/18
アーティスト：関水 美穂

[詳細はこちら](#)

第四ステージ
「現代美術」



期間：2021/4/20～4/25
アーティスト：折原 智江

[詳細はこちら](#)

第五ステージ
「日本画」



期間：2021/4/29～5/9
アーティスト：本多 翔

[詳細はこちら](#)

仁和寺藝術 4.8 プロジェクトとは



過去から継承された藝術空間（仁和寺御殿・境内）の中で、過去の手法や技法を踏襲・改変した現代アートを展示し、仁和寺における藝術文化の今を記録する企画である。

また、本企画は、日本文化を次世代に繋いでいく文化プロジェクトの創出を目指し、伝統文化従事者に、もっと自身の唯一無二を語ってほしい、現代アーティストには、日本の伝統文化ならではの自然思想を、次世代の芸術アートの分野に受け継いでいってもらいたい。とのテーマを掲げて活動されている『SHIZENNECTION ～ シゼネクション』様にキュレーションをお願いする運びとなり、今回の芸術祭のキーテーマを【仏生会4月8日】と定め、お釈迦さまの生誕を祝い、思うことで、ご覧になった方々皆さんの万物への感謝や気づきをうながしていきたい



4月8日 お釈迦様の誕生日を祝う

“仏生会”を中心に据え、

アート・花・文化の祭典を開催致します。

本企画は現代アート作家への

非資金的な支援を目的とし、

京都随一の名勝“御室桜”、門跡寺院の文化財と

現代アートの対比、

仁和寺に伝わる“御室流”華道作品を

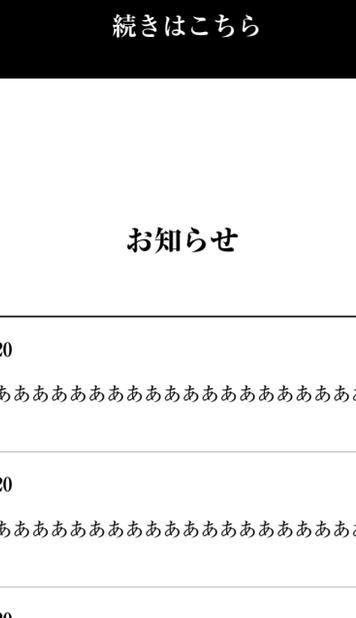
お楽しみいただきます。

アートの刺激を受け、花を愛でて、

様々なご縁をつなげる。

これからの文化を育てる

藝術プロジェクトです。



総本山仁和寺 瀬川門跡猊下

御室芸術祭について ～祈りと芸術の響き～

仁和寺は宇多天皇を開山法皇とし、888年の創建より令和の時代まで、弘法大師空海を宗祖とする真言宗の法灯を継承する寺院です……

[続きはこちら](#)

お知らせ

21/02/20

ああああああああああああああああああああああああ

21/02/20

ああああああああああああああああああああああああ

21/02/20

ああああああああああああああああああああああああ

[すべて見る](#)

展示内容・スケジュール

第一ステージ 「彫刻」

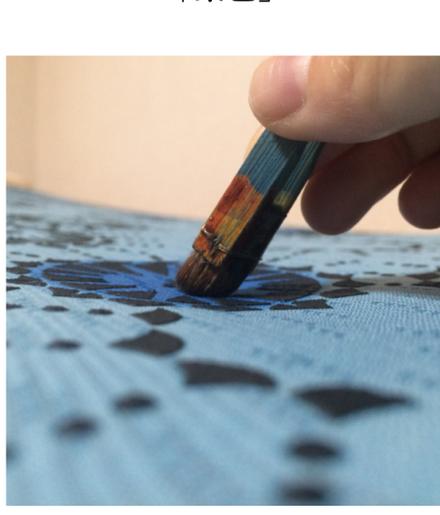


期間：2021/3/20～3/28

アーティスト：山口桂志郎

[詳細はこちら](#)

第二ステージ 「デザイン」



期間：2021/3/30～4/4

アーティスト：猪飼 俊介

[詳細はこちら](#)

第三ステージ 「染色」



期間：2021/4/8～4/18

アーティスト：関水 美穂

[詳細はこちら](#)

第四ステージ 「現代美術」

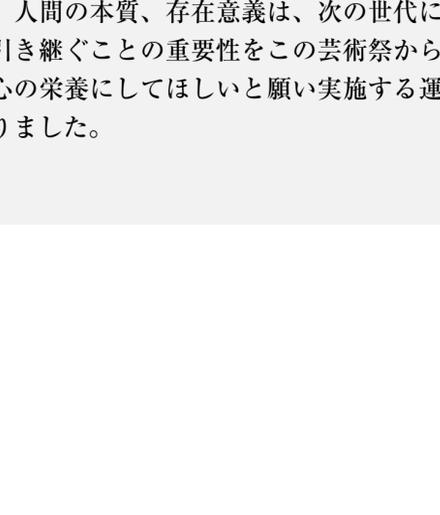


期間：2021/4/20～4/25

アーティスト：折原 智江

[詳細はこちら](#)

第五ステージ 「日本画」

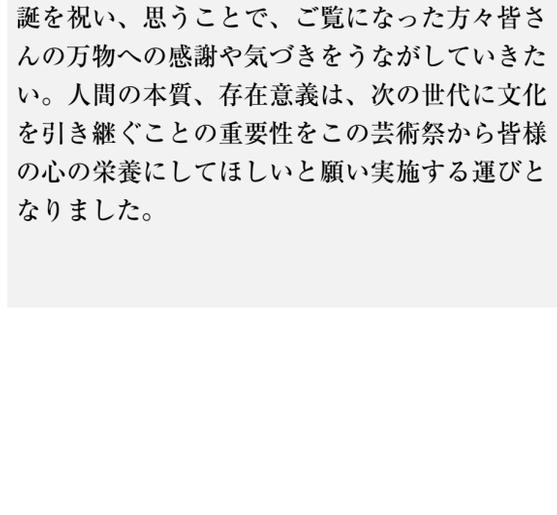


期間：2021/4/29～5/9

アーティスト：本多 翔

[詳細はこちら](#)

仁和寺芸術4.8プロジェクトとは



過去から継承された藝術空間（仁和寺御殿・境内）の中で、過去の手法や技法を踏襲・改変した現代アートを展示し、仁和寺における藝術文化の今を記録する企画である。

また、本企画は、日本文化を次世代に繋いでいく文化プロジェクトの創出を目指し、伝統文化従事者に、もっと自身の唯一無二を語ってほしい、現代アーティストには、日本の伝統文化ならではの自然思想を、次世代の芸術アートの分野に受け継いでいってもらいたい。とのテーマを掲げて活動されている『SHIZENNECTION～シゼネクション』様にキュレーションをお願いする運びとなり、今回の芸術祭のキーテーマを【仏生会4月8日】と定め、お釈迦さまの生誕を祝い、思うことで、ご覧になった方々皆さんの万物への感謝や気づきをうながしていきたい。人間の本质、存在意義は、次の世代に文化を引き継ぐことの重要性をこの芸術祭から皆様の心の栄養にしてほしいと願い実施する運びとなりました。

京 都

仁和寺御室

藝術

4.8

PROJECT



Ninnaji Omuro Art 4.8 Project

御室芸術祭について ～祈りと芸術の響き～



総本山仁和寺 瀬川門跡猊下

仁和寺は宇多天皇を開山法皇とし、888年の創建より令和の時代まで、弘法大師空海を宗祖とする真言宗の法灯を継承する寺院です。

当寺はこれまでに建造物の焼失や移転など、幾度もの困難がありましたが、創建当初から時代の変化に対応しながら寺院活動を行ってまいりました。

当寺は創建より約1130年の間に失われたものも多数ありますが、現在国宝12件、重要文化財47件、その他約2万件に及ぶ文化財(宝物、什物、聖教など)を所有しています。

1994年には世界遺産に登録されたことで、国内に留まらず、多くの訪日人が当寺の歴史的宗教建築群や庭園、宝物などを参拝、鑑賞されており、当寺にとっても日本の宗教や伝統文化、芸術などを伝える機会が増えております。そういった中で宗教活動と共に、保存と公開を行っております。

近年文化財の保存として、国宝三十帖冊子、重文万葉集註釈の保存修理、礼拝施設の修復では重文観音堂(半解体)、国宝金堂(葺戸)、公開として東京国立博物館に於いて「仁和寺と御室派のみほとけ」展、金堂内で「五大明王」展、霊宝館に於いて名宝展を開催しております。

所有する文化財を守り伝えてきた事は、開山宇多法皇の「祈りの心」とともに脈々と継承され、生き続けているように思いますが、その背景には多くの僧侶をはじめ、それぞれの技術を持つ人達が「すべては仁和寺のために」という尊い気持ちに支えられて来たように思います。

さらに当寺はこれまで芸術や文化を育み花開く場、感動を与える場でもありましたので、このような人々の気持や芸術、そして文化が長い歴史の中でも貴重な財産となっており、これらを切り離して考えることは出来ません。

そこで、仁和寺では文化財を保護し、次世代に繋ぐこと、さらには現代の芸術を後世に残す取り組みが必要であると考え、延いては、広い意味での文化財保護活動の一如を担うと考え、長期的に現代の作品を残す取り組みを行うことといたしました。

この度の芸術祭を通じて仁和寺にお越しいただき、芸術に触れていただきたく、お待ち申し上げます。